

活動テーマ

公園の再開発と緑化活動および堆肥作り

実践事例について

本校は、エコ・スクールに参加して今年度で3年目となった。昨年度は緑化活動で集めた落ち葉を使用して作った腐葉土を使用し、花苗の育成と販売、公園の緑化活動に取り組んだ。今年度も昨年度と同様、公園の緑化活動に取り組んだ。また、花苗を育て、地域の方々へ販売したり、公園に定植したりすることによって、伊吹分教室の活動を知ってもらう機会とした。また、これらの活動を通して、生徒たちは「自然を大切にする」、「地域に貢献する」ということを学ぶ機会となった。

1 はじめに

(1) 学校の概要

長浜養護学校伊吹分教室は、知的障害のある生徒が学ぶ普通科の特別支援学校である。平成25年4月に滋賀県立伊吹高等学校内に開設され、今年度で8年目となる。主に中軽度の知的障害の生徒が在籍し、社会的・職業的自立に向けた教育を進め、平成30年度より、職業コースとして新たにスタートした。現在は33名の生徒が在籍している。

(2) 実践の動機

伊吹高校に隣接する公園は、生徒が登下校で往来する場である。また、地域住民や近隣の小学校の児童も通勤・通学で往来する場であることから、目につきやすく、交流しやすい場所である。

この公園は、昨年度伊吹分教室が緑化活動に取り組み、整備したものの、3月以降は新型コロナウイルスに伴う休校の影響で手入れが行き届かず、再び除草することが必要となり、公園としての機能が果たされずにいる。

そこで、今年度についても緑化活動に取り組み、公園の再開発を行ってはどうかと考えた。

本校では、働く構えや意欲を育成するために、作業学習を教育課程に位置付けている。作業種目の一つである『園芸』では、花苗の育成と緑化活動を通じて、働く力の育成に取り組んでいる。この『園芸』で取り組んでいる活動が公園での緑化活動に生かすことができると考え、今年度も、エコ・スクールに参加することとした。

(3) 活動の目標

昨年度緑化活動で集めた落ち葉を使い、腐葉土を作り、花苗を育成した。今年度は、公園の緑化活動を中心に活動に取り組み、緑化活動で集めた落ち葉を使って堆肥作りを行う。その堆肥を使って花苗を育成し、地域の方々へ販売したり、公園に定植したりすることによって、「自然を大切にする」、「地域に貢献する」という意識や態度の育成に努める。

2 実践事例

清掃活動と公園の再開発

ア 活動内容

- ・伊吹高校に隣接する公園を中心とした除草作業
- ・育てた花苗の定植

イ 生徒の様子

伊吹高校に隣接する公園は、昨年度伊吹分教室がエコ・スクールで緑化活動に取り組んだことから、手入れされつつはあるものの、まだ不十分で、草が伸び切った状態であった。

広範囲に雑草が伸びていたため、何日か日を設定し、除草作業を行った。生徒たちは、雑草の多さに驚いていたものの、除草し終えきれいになったことが目に見えると、達成感を感じ笑顔が見られた。また、伊吹分教室の保護者の方から、「きれいになった」と言っていたいただき、生徒たちの励みとなった。

除草前



リュウノヒゲ、花苗（サルビア）の定植



花苗の定植



リュウノヒゲ定植



3 まとめ（成果と今後の展望）

前年度に引き続き、エコ・スクール活動に参加した。伊吹高校に隣接する公園を整備することによって、信号で停車する車の方や近所の方々の目に留まり、お礼を言われることがあった。生徒たちは、お礼を言われることに対して気恥ずかしさを感じつつも、嬉しさもあり、達成感を感じることができた。また、生徒たちが除草等の緑化活動をしていることを見て下さった地域の方々が、生徒のいない夏休み中に除草を行って下さり、学校・地域が連携して管理することができた。予定していた堆肥作りについては、雪が降ってしまったため取り組むことができなかったが、昨年度作った堆肥を使って花苗を育てることで、地域の方々に販売することができた。

今後も「自然を大切にする」、「地域に貢献する」ということを学ぶきっかけとして、引き続きこの公園を整備できるとよいと考えている。

学校名	滋賀県立長浜養護学校伊吹分教室
住所	米原市朝日302
電話番号	0749-55-8031
E-mail	nagayo-sh.bun@pref-shiga.ed.jp